

花巻 歴史探訪

【問い合わせ】本庁文化課(☎23-52600)



松林寺地蔵堂

仁寿元年(851年)建立。

(所在地 石鳥谷町松林寺)



地蔵堂内部

土製の地蔵1400体余りを安置。また、狩野休意・盛岡藩お抱え絵師、花巻三画人の小野寺周徳、八重櫻豊沢などの筆による絵馬を掲額しています。

石鳥谷地域西部の山ぎわにある松林寺地蔵堂は、寺伝では仁寿元年(851年)の創建といわれています。55代文徳天皇の後・染殿が清和天皇を懐妊したとき、地蔵菩薩の功德により安産を得たことから、国内66州の国ごとに子安地蔵尊が安置されました。松林寺の地蔵尊もその一つではないかといわれています。

盛時、境内は東西500間(約910[㍎])、南北300間(約546[㍎])ほどの広さがあり、安産・子育ての地蔵様として庶民の信仰を集めていました。旧暦6月23日の縁日には「松林寺参り」が行われ、近郷近在はもとより、盛岡や雫石、胆沢、江刺方面、遠くは仙台、秋田方面などからも参拝者があつたといわれています。

松林寺は天文年中(1532~1555年)に野火によって焼失しましたが、慶安5年(1652年)に盛岡藩主二代南部重直によって再興されました。その後、明和5年(1768年)に建て替えられ、現在に至っています。